

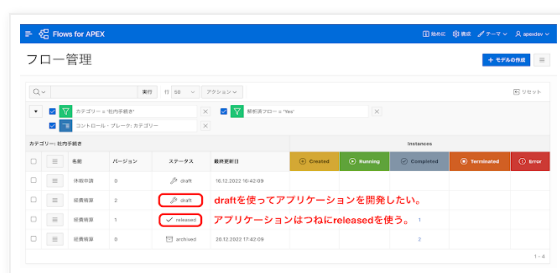
日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年1月28日 金曜日

Flows for APEXによる経費精算アプリの作成(6) - アプリケーションの更新

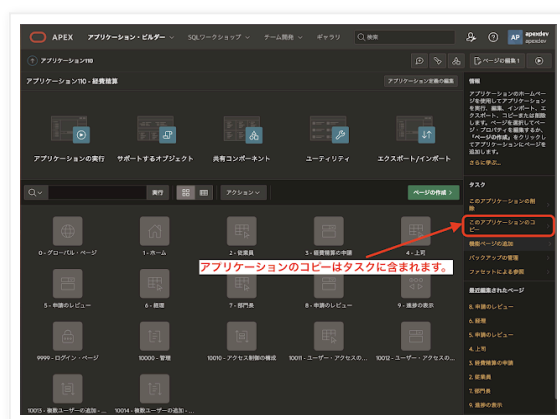
リリース済みのフロー・モデルを変更する場合、最初にステータスがdraftの新バージョンを作成します。通常、APEXアプリケーションは、ステータスがreleasedのフロー・モデルのバージョンを選択するため、そのままではdraftのバージョンのワークフローを開始することはできません。



フロー・モデルの新バージョンのステータスがdraftの間は、稼働中のAPEXアプリケーションはreleasedのフロー・モデルのバージョン（上記の画面のスナップショットではバージョン1）を使い続けます。

経費精算のフロー・モデルのバージョン2を作成します。ステータスはdraftです。フロー・モデルの新しいバージョンに対応した変更をAPEXアプリケーションに対して実施するために、アプリケーションをコピーします。

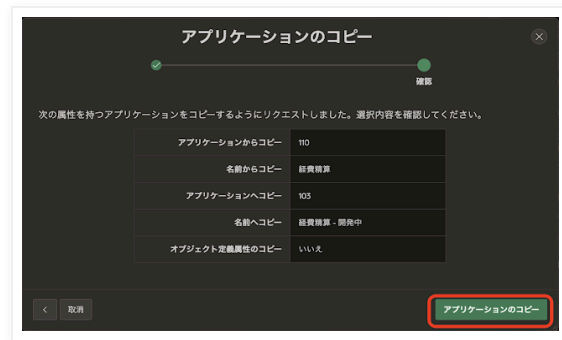
アプリケーション・ビルダーにて稼働中のAPEXアプリケーションを開き、このアプリケーションのコピーを実行します。



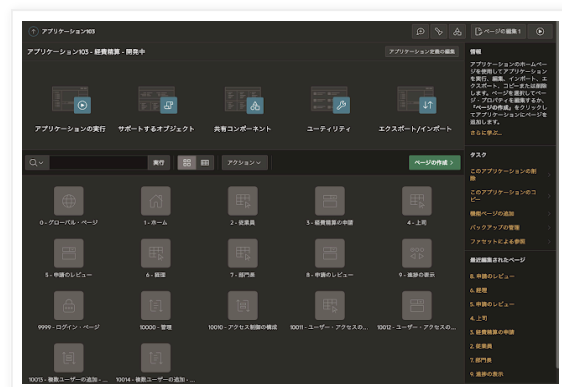
新規アプリケーション名には、開発中であることがわかる名前を付けます。以下では経費精算 - 開発中としています。次へ進みます。



確認画面が表示されます。**アプリケーションのコピー**を実行します。



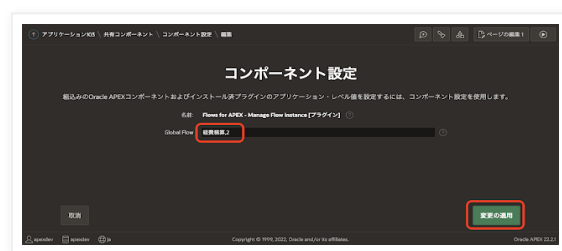
アプリケーションのコピーが作成されます。



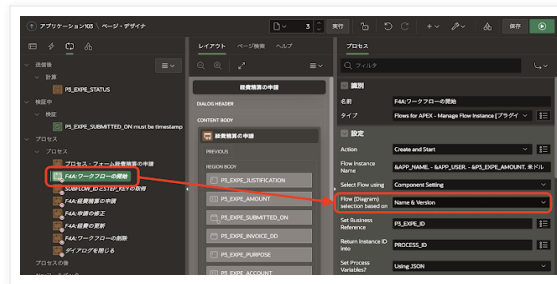
コピーしたアプリケーションがフロー・モデルのバージョン2を扱うように、設定を変更します。

プラグインFlows for APEX - Manage Flow Instance [プラグイン]のコンポーネント設定に含まれるGlobal Flowを、バージョン番号を加えた**経費精算,2**に変更します。

変更の適用をクリックします。



ページ番号**3**のページ**経費精算の申請**にあるプロセス**F4A:ワークフローの開始**を選択します。プロパティ**Flow (Diagram) selection based on**を**Name**から**Name & Version**に変更します。その後に、変更を**保存**します。



アプリケーションをコピーする際に、ユーザーとロールの割り当てはコピーされません。

共有コンポーネントのアプリケーション・アクセス制御を開き、ユーザー・ロール割当ての追加をクリックします。



ユーザー名を入力し（記事通りに作業を行っていると、ワークスペースにサインインしているユーザー名になります）、アプリケーション・ロールの上司、従業員、管理者、経理、部門長にチェックを入れます。割当ての作成をクリックします。

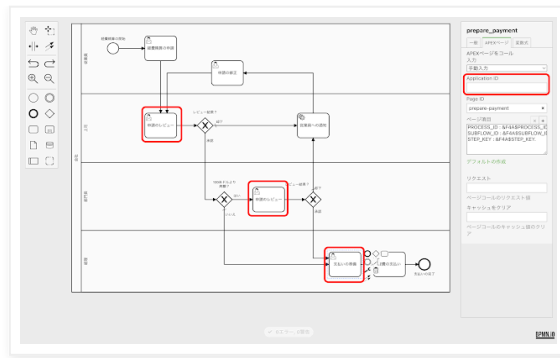


ユーザー・ロール割当てが作成されます。



フロー・モデルのステータスがdraftのバージョンのフロー・ダイアグラムを編集します。

フロー・モデラーで該当のバージョンのフロー・ダイアグラムを開き、ユーザータスクのAPEXページのApplication IDを空白にします。



ワークフロー開始時に、プロセス変数**APPLICATION_ID**にアプリケーションID（**&APP_ID.**）を設定します。ユーザータスクのApplication IDが無指定の場合、プロセス変数APPLICATION_IDの設定が使用されます。

Set Process Variables?のJSONの記述をを以下に変更します。

```
[
  {
    "name": "EXPE_AMOUNT",
    "type": "number",
    "value": "&P3_EXPE_AMOUNT."
  },
  {
    "name": "APPLICATION_ID",
    "type": "number",
    "value": "&APP_ID."
  }
]
```

以上でフロー・モデルの変更は完了です。変更したフロー・ダイアグラムを保存します。

経費申請 - 開発中のアプリケーションを実行し、経費精算の申請を一通り実施します。

その後、Flows for APEXのアプリケーションを開きます。

フロー・モデルのバージョン2（ステータスはdraft）のインスタンスが増えています。コピーしたAPEXアプリケーションにて開始されたワークフローは、フロー・モデルのバージョン2に基づいていることが確認できます。

Flow Name	Status	Version	Created By	Created Date	Updated By	Updated Date
経費申請 - 開発中	draft	2	ADMIN	2018/03/27 10:00:00		
経費申請 - 開発中	released	1	ADMIN	2018/03/27 10:00:00		
経費申請 - 開発中	released	1	ADMIN	2018/03/27 10:00:00		

これ以降は通常のAPEXアプリケーションの開発作業になります。開発が完了したら、稼働中のアプリケーションと入れ替えます。

入れ替え後に**コンポーネント設定のGlobal Flowを経費精算,2から経費精算、プロセス・プロパティFlow (Diagram) selection based onをName & VersionからNameに戻します。**

開発が完了している時点で、フロー・モデルのバージョン2のステータスはreleasedになっているはずですが、そのため、この変更によって選択されるバージョンはどちらも4で変わりません。この変

更にはアプリケーションの利用を開始した後でも、問題なく実行できます。

[続く](#)

Yuji N. 時刻: 13:06

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.
